

JID

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1991

1・2

一年頭にあってー



理事長 長岡貞夫

今世紀の掉尾を飾るにふさわしい10年の幕開けとなるか、それとも世紀末の響きに符合した険しい道程への第一歩か。会員の皆様におかれましては、いかがが新年をお迎えになりましたでしょうか。

昨年は、大役を仰せつかり、不慣れながらも先輩諸氏、会員の皆様方のお力添えによって、30周年記念事業後の諸懸案の処理等に当らせていただき、相応の成果を得ましたことに先ずお礼を述べさせていただきますとともに本年は次のような大きな課題が待ち受けておりますことを、あらためて申しあげたいと存じます。

第一に挙げますことは、すでにJIDニュースによってもご案内のとおり、1995年の開催されますIFI総会並びに世界インテリア会議日本誘致立候補であります。本年6月、シカゴでの総会において行うものであります。が、実現されますとアジアで初の会議となり、その意義の深さは今更繰返すまでもなく、測り知れないものとなる筈であります。

この問題とも決して無関係ではないのがつぎに挙げます副理事長複数制への定款の改訂の作業であります。詳細は他の機会に譲りますが、国内状況の変化への対応としては、会員の増加にともなう業態の多様化に対するキメ細かい事業の展開、同業・関連団体との交流の拡大が

目次

●1991年の新春を迎えて……………	1
●平成3・4年度選考委員選挙開票結果……………	2
●1990・第5回理事会議事録……………	2
●委員会の動き……………	6
●定款改訂に向けて準備本格化……………	6
●国際委員会報告……………	7
IFI NEWS LETTER抄録他……………	7
●JIDの事業整備へのご協力お願い……………	9
●組織委員会報告……………	10
●アンケート回収・実態集計……………	11
●事業支部の動き……………	11
●関東支部新春交礼会開かれる……………	11
●中部事業支部だより……………	12
●関西事業支部便り……………	14
●九州事業支部便り……………	14
●浅利弘三氏に捧ぐ……………	15
●関連団体の動き……………	15
●会員の消息……………	15
●新入会員の紹介……………	17
●会員の異動……………	18
●事務局短信……………	21

あり、又国際状況との関連においては、前記国際会議の誘致計画のほか、海外デザイン研修協力、デザイナー間の国際交流の推進等21世紀に向けてのJ I Dが果たすべき役割を実施に移すに当って、その根幹となる組織の強化、運営面の改善に、この定款の改訂作業はその第一歩を意味するものであるとの認識を持っており、すでに通産当局との予備的接渉に入っております。

さらに、これらの活動を積極的に進め、より活性化を計る上で、昭和53年以降12年間据置かれている会費の見直しも考えるべき時期にあると思われます。財政面の体質の強化なくして、いかなる事業の進展もありえないことは自明であります。

これら重要案件の解決、実施に当っては、会員、賛助会員皆様方のご理解、ご協力が不可欠であることは申すまでもありません。

1991年が当J I Dにとって来るべき世紀への強固な礎を築く年となりますよう、微力ではありますが皆様とともに努力を続ける所存でございます。

各位の一層のご活躍と飛躍を祈念いたします。

< 完 >

(注) 無効の内容 定数以上を記入したもの 10票

3. 開票結果(得票数順)

当選

渡辺 優 (155 票)、川上信二 (108 票)、白石勝彦 (84票)、中村圭介 (75票)、三輪正弘 (74票)、長岡貞夫 (72票)、泉 修二 (66票)、喜多俊之 (61票)、山品 元 (53票)、島崎 信 (50票)

(以上 10名)

次点

光藤俊夫 (49票)、松本哲夫 (47票)、森谷延周 (47票)

4. その他

今回の投票率は会員各位のご協力の結果、前回より1.4 %上回りました。来年度は、役員選挙も実施されますので投票率向上により一層のご協力をお願いします。今回の無効投票は、○印が10名の枠を超えた方です。10名を超えなければ、たとえ1名でも有効です。今後はご留意下さい。

なお、開票当日はお忙しい中をご出席頂いた委員諸兄姉には、誌上をお借りし御礼申し上げます。

平成3～4年度選考委員開票結果報告

選挙管理委員長 加集喜雄

平成3～4年度選考委員選挙の開票は、去る1月18日午後1時から本部事務局において行った。その概略は下記の通り。

記

1. 出席委員名

加集喜雄(委員長)、工藤広忠(名誉会員)、葛西紀巳子、丹治亜子(以上準会員)、野村禮七郎、伊藤公子、朝妻昭子、田中作弥子(以上事務局員)

以上 8名

2. 開票状況

発送数 713 通

投票数 386 票

内訳

有効投票数 376 票

無効投票数 10 票

投票率 54.1%

'90・第5回理事会議事録

1. 日 時：平成2年12月5日(水) 13:30～16:30

2. 場 所：東家商会館 3F 会議室

東京都文京区湯島3-35-13

3. 出席者：(別掲の通り)

4. 議 事：

I. 報告事項

(1) 各事業支部及び本部各委員会の事業推進状況

(2) 「インテリアマップ'90～91」の拡販について

(3) 平成2年度上半期会計監査完了報告

(4) 通産省「平成2年度ブロック別デザイン会議」開催状況

(5) 日本デザイン団体協議会事務局長会議

(6) 計報

浅利弘三氏(関東・正会員)平成2年11月20逝去

(7) その他

- ・(財)名古屋観光コンベンションビューロー設立発足
- ・豊口名誉理事へお祝い贈呈
- ・本部事務局年末、年始のスケジュール

II. 議 案

- 第1号議案 会費増額(案)について
- 第2号議案 協会員肩書明示について
- 第3号議案 平成元年度野口記念事業収支決算承認の件
- 第4号議案 平成2年度除名対象者について
- 第5号議案 後援・協賛名義承認の件
- 第6号議案 入会及び退会承認の件
- 第7号議案 議事録署名人選任の件 (2名)

5. 議 事

野村事務局長より「理事総数15名中15名(本人出席10名, 委任状5名)で本理事会は成立した」旨報告がなされた。引続き、長岡理事長が議長となり議事に入った。

I. 議 事

第1号議案 会費増額(案)について

議長は、第1号議案について、川崎財務委員会委員長に提案理由の説明を求めた。川崎財務委員長は、会費増額についての検討結果4項目について、資料に基づき説明した。

- ① 会費増額の必要性及び増額の可否
- ② 会費増額幅について(正会員)
- ③ 準会員、賛助会員の会費増額について
- ④ 総会提出までの手順について
- ⑤ 承認後の作業手順と問題点について

議長は、第1号議案につき、理事会の了承を求めた。理事会は会費増額の必要性について出席者全員が賛成したが、増額の幅及び総会提出時期等については十分検討する必要があるので、次回理事会の継続審議とすることが望ましいとの結論となり、理事会はこれを了承した。

第2号議案 協会会員肩書明示について

議長は、白石教育・研究委員会委員長に提案理由の説明を求めた。白石委員長は、提案までの経過及び提案理由について下記の通り説明した。

この提案は去る10月17日に開催された教育・研究委員

会で審議し、理事会に提案することが決定したものであること。J I D会員は、協会会員としての名誉とその責任の所在を明確にするため、公的な教育・啓蒙の場において、プロフェッショナルとしての身分を明確にすることが必要と思われる。したがって氏名、肩書きの表記に際し、J I Dの会員及び肩書きを、氏名、勤務先、所属などと併記することを義務づける。

理事会は第2号議案につきこれを審議した。その結果、議長は「この提案を会員に義務づけることより、『J I D NEWS』などを通じ会員に衆知させることとしてはどうか」と発言し、理事会の了承を求めた。理事会はこれを了承した。

第3号議案 平成元年度野口記念事業収支決算承認の件

議長は、第3号議案について、野村事務局長に説明を求めた。野村事務局長は、資料に基づき、その内容を説明した。議長は、第3号議案について理事会の承認を諮った。異議なく承認された。

第4号議案 平成2年度除名対象者について

議長は、平成2年11月末日をもって下記の者が除名及び資格消滅されるものとし理事会に諮った。異議なく承認した。

正会員氏名	未納金額	支 部 名
高 木 敦 子	72,000円	関東事業支部

第5号議案 後援・協賛名義承認の件(4件)

議長は、下記4件について事務局長に説明を求めた。事務局長は各々の資料に基づき実施または実施予定等について説明した。議長は、本件につき理事会の承認を諮った。いずれも異議なく承認した。

○第31回『東京インターナショナル・ギフト・ショー春'91』	協賛
主催 (株)ビジネスガイド社	
(1991. 2. 18~20 東京)	
○第5回『インターナショナル・ギフト・ショー-西日本春'91』	協賛
主催 (株)ビジネスガイド社	
(1991. 3. 5 ~ 7 神戸)	
○セミナー「戦略としての生活文化」	協賛
主催 生理人類学会	
(1991. 1. 24~25 東京)	

○第2回「DRAFT FORUM OF ALLDESIGNERS 後援
1991」新人賞
主催 デザイン・ドラフト・フォーラム実行委員会
(1991. 7. 20～21 設営 22～24開催 大阪)

議事録署名人 中 川 千 年 印
議事録著名人 三 輪 正 弘 印
1990・第5回理事会出席者

長岡 貞夫、 泉 修二、 白石 勝彦、
森谷 延周、 川崎 浩、 栢原 秀榮、
中川 千年、 三輪 正弘、 中村 圭介、
山品 元

理事総数15名中15名(本人出席10名、委任状5名)
(委任状) 富田 卓司、山本 棟子、川上 信二、
宇賀 敏夫、渡辺 優

監 事 渡邊 敏雄
事務局長 野村 禮七郎

第6号議案 入会及び退会承認の件

議長は、下記10件について事務局長に内容の概括説明を求めた。事務局長は、資料に基づき説明した。理事会はそれぞれの資料に基づき審議を行った。

議長は本件につき理事会に諮った。いずれも異議なく承認された。

正会員 入会 正会員 (6件)

氏 名	種 別	支 部	保証推薦者
篠崎 秀一	正会員	関東	式田 完・日方和城
千葉 豊	"	中部	早川昌直・中島健視
鈴木 滋伸	"	関東	中村圭介・野原建広
鳥場 淑高	"	"	長岡貞夫・森谷延周
鶴蘭 雅張	"	九州	中川千年・伊藤邦隆
土師 義昭	"	関西	川崎 浩・山崎 晶

入会 賛助会員 (3件)

氏 名	種 別	支 部	紹 介 者
(株)上田製作所 アート・フィルム 事業部	賛助会員	関西	富田 卓司
(学)東北文化学園 東北工科情報専門学校	"	関東	事務局扱
マツト工芸産業(株)	"	関西	中道 義雄

退 会 (1件)

氏 名	種 別	支 部
香 月 寿 一	正会員	九州

第7号議案 議事録署名人選任の件

議長は、議事録署名人に 中川千年、三輪正弘両理事の選任を理事会の承認を諮った。異議なく承認された。

(株)日本インテリアデザイナー協会 1990・第5回理事会に関し、定款第28条の定めるところに基づき、議事経過の要領及び議決事項を記すため、議長と議事録署名人がここに記名捺印する。

議 長 長 岡 貞 夫 印

次回1990・第6回理事会は、平成3年1月25日(金)東京で開催の予定。

II. 報告事項

議長は、報告事項(1)については各事業支部担当理事及び本部委員会委員長に、また報告事項(2)～(7)について野村事務局長にそれぞれ報告を求めた。各事業支部担当理事及び本部各委員会委員長は報告事項(1)について、野村事務局長は、報告事項(2)～(7)について、それぞれ下記の通り報告した。

(1) 各事業支部及び本部委員会の事業推進状況

・九州事業支部 (中川)

本年度は会員拡大とコミュニケーションに重点をおき活動している。例会を毎月開催し、新入会員を中心に毎回3名の会員活動状況の報告などを行ない、活発に活動中。今月は1泊で行う予定。

・関西事業支部 (栢原)

9月28日から11月30日までの活動状況は、別紙報告書の通りで、詳細は「JID NEWS」11・12号を参照されたい。運営委員会及びJIDサロンは毎月定期的に開催している。

・関東事業支部 (泉)

12月7日に支部委員長会議を開催し、今後の活動方針を決める予定。交流委員会では1月25日開催の新春交礼会を計画、出版委員会では関東支部独自のNEWS発行を計画している国際委員会では本部の国際委員会に協力し、支部会員に広報活

動などを行う予定。

・総務委員会 (森谷)

第4回の理事会で持ち越しとなったJ I D一連の出版物の編集方針について、事務局に協力する総務委員長の立場から、理事長及び出版委員長ならびに事務局長と過日調整し、別添資料「J I D一連の出版物に対する実施計画(案)」を作成した。事業予算は、出版委員会の本年度予算総額300万円を基本とした「J I D NEWS」は年度内にあと3回発行予定(本部事務局)、J I D 30記念号の「INTERIOR DESIGN」111号は12月中に発行「旧出版委員会」予定、機関誌は本年度発行を凍結する。

「会員名簿改訂版」は当初の方針通り3月末発行予定(本部事務局)で進める。なお、会員名簿の広告掲載先について、別添資料「J I D会員名簿改訂版制作に伴う広告に関して」により理事各位及び各事業支部のご協力をお願いしたい。

・出版委員会 (三輪)

総務委員会の調整により「J I D NEWS」及び「会員名簿」は事務局が主体で発行することになるが、「会員名簿」については、編集上の基本的な方向付けなどについては協力を惜しまない。新機関誌は年間1～2回の発行を計画中で、来年度の事業予算とかね合いにより発行したい。

・財務委員会 (川崎)

7月末に本部委員会を開催し、後は通信で行っている。本部委員の制度が不慣れなため、十分な活動がなされていない。平成3年度の本部各委員会及び各事業支部の事業計画(案)及び収支予算(案)についていずれ作成をお願いするが、平成3年度もJ I D引当繰入れ500万円やI F I総会出席等が予定されるので支出予算額は平成2年度の大枠をこえないようお願いする。会員拡充については、来年度も本年度と同様に新入会員80名を確保するよう協力してほしい。

・国際委員会 (山本)

I F I国際会議'95日本開催誘致に対するプレゼンテーションの内容について、過去に出席した方々の意見を伺い、取纏め中。会員の参加意識高揚のため、スライドを一般公募する。シカゴで開催される国際会議のツアーを関東支部と共同で計

画している。その他、前年度の持続事業として「Please be Seated」を作成し、10月にI F Iに提出した。「I F I国際デザイナーズ ハンドブック」について至急に作成すべく推進中。上記及びI F I会議誘致のための特別費用については、見込み額を検討中。

(以上、山本委員長委任につき野村事務局長が報告した。)

・広報委員会 (山品)

10月13日及び11月14日の2回、通信による持回り委員会を実施した。外部に対する広報については、現在J I Dが外部に資料などを送っている271カ所について事務局でリストアップしたものを広報委員会で検討し、関東に集中しないよう調整する。協会内部の広報については、過去の記録類のリストアップについて「J I D NEWS」に同封し、全会員に協力を呼び掛けるようアンケート用紙を準備している。

・教育・研究委員会 (白石)

10月17日に東京で本部委員会を開催し、前年度より引継ぎ事業の処理方法及び平成2年度の事業計画4項目について討議決定した。その後、前年度の研究委員会の報告書が完成し関係先に配布した。出版の可能性については出版委員会に検討をお願いする予定。インテリア教育におけるコンピューターの導入の研究については、現状を把握した上で進める。海外デザイン研修の研修場所は、候補先を物色中。その他、「講師派遣の要請の対応」の中で、会員の肩書き明示について理事会に提案するよう決定した。

・展覧会委員会 (渡辺)

各事業支部の展覧会委員長に夫々の計画について尋ねた。近日中に出揃うので結果を取纏めた上、次回理事会に報告する。J A P A N T E X等、他団体からの協力依頼及び昨年度までの共同事業委員会のような計画は現在来っていない。

(以上、渡辺委員長委任につき、野村事務局長が報告した。)

・定款改訂委員会 (森谷)

10月末日、以前定款改訂を実施したJ A G D A事務局長と会い、改訂の際の問題点や経過を打診

した。11月中旬に第1回の委員会を開催、副理事長複数制の理由書作成について検討した。12月中に通産省所管部署に理由書骨子(案)を提出し指導を受ける予定。

(2) 「インテリアマップ'90〜'91」拡販について

11月16日に同誌の出版元「婦人画報社」と、JID理事長、旧インテリアマップ委員会のメンバー3名、事務局長が拡販について打ち合わせた。出版元から「現在の販売部数は6000部で、あと2000部は売らなければならない状況である。拡販についてJIDのご協力をお願いしたい。」との要望があった。

(3) 平成2年度上半期会計監査完了報告

11月5日、平成2年度上半期(4月1日〜9月30日)の一般会計監査が榎田、渡邊両監事によって実施された旨報告、説明した。

(4) 平成2年度ブロック別デザイン会議開催状況

平成2年度デザイン開発指導連絡協議会が全国各通産局別に開催された。ブロック別開催日及び出席者については下記の通り。

11月6日 中部通産局 宇賀理事

11月7日 九州通産局 坂下九州支部長、帆足英二
会員

11月14日 関西通産局 浅田関西支部長

11月16日 関東通産局 中川関東支部長、野村事務
局長

(5) 日本デザイン団体協議会事務局長会議

11月30日に開催、通産省検査デザイン行政室より朝倉課長補佐、永井総務係長が出席された。協議会からデザイン功労者表彰の発表方法、褒賞叙勲制度の資格等について、要望事項等が話し合われた。

(6) 訃報

協会設立時から会員、浅利弘三氏(関東、正会員)が去る11月20日逝去された。享年58才。
謹んでご冥福をお祈りする。

(7) その他

- ・(財)名古屋観光コンベンションビューロー(旧(財)名古屋市観光推進協会)が10月16日設立、発足した。
- ・第1回「デザイン功労者表彰」で通産大臣賞を受賞された豊口名誉理事宅を、長岡理事長、泉副理事長、森谷理事、野村事務局長が10月10日に訪問し、祝意を表した。

- ・本部事務局の年末年始のスケジュール

年内業務 12月 27日(木)まで

年始業務 1月 7日(月)より

議長は、報告事項(1)・(3)、(7)について理事会の了承を求めた。理事会はこれを了承した。

なお、議長は本部事務局長及び総務委員長提案の新名簿発行に伴う広告掲載先の確保について、各事業部及び各理事が分担して協力するよう特に要請した。

委員会の動き

●定款改訂委員会

- 定款改訂に向けて、通産省との間に準備が本格化

正式にスタートした「定款改訂委員会」は、昨年11月15日の初会合以来、ようやく軌道に乗りつつあります。その検討の最優先は「副理事長複数制」への改訂「案」ですが、いざ改訂となると、なぜそうするのかといった「改訂事由」が明確であること、また、それに関わる「添付資料」も必要となります。委員会としては、下記のような改訂事由の骨子を昨年12月26日に、その骨子を説明する文案(A4版5枚)を今年1月14日に、それぞれ管掌下の通産省貿易局検査デザイン行政室に提示しました。

その骨子とした項目及び添付資料は下記の通りです。

① 国内面の状況変化とその対応

- 1) 会員の業態の多様化
- 2) 職能の分化と専門化
- 3) 同業・関連団体との交流の増大
- 4) デザイン6団体との積極的な交流
- 5) 資格制度との関連
- 6) 国内デザインコンペ計画の立案・運営

② 国際面の状況変化とその対応

- 1) I F I の国際会議日本誘致計画
- 2) 海外デザイン研修に対する協力
- 3) デザインツアーなどによるデザイナー間の国際交流
- 4) 環太平洋インテリアデザイン会議の計画
- 5) 国際デザインコンペ計画

●添付資料としては

- | | |
|------------|--------------------|
| 1) 現在の定款 | 5) 役員選挙規定 |
| 2) 会員数の推移 | 6) 会員規定 |
| 3) 組織図の変遷 | 7) I F I 関係資料 |
| 4) 担当理事の責務 | 8) J I D パンフレットなど。 |

このように一つの事柄を理由付けるには、それなりの準備が必要となり、いずれも「検査デザイン行政室」から「産業政策局総務課」へと説明され、内諾への準備となります。

このほか、その後の理事会において検討された事柄は、準会員の存在、役員の定数、顧問の存在などですが、いずれも通産省との折衝の中である方向がまとまるものと思われる。

以上のことは、去る1月30日の「検査デザイン行政室・産業政策局総務課・J I D」の三者会議にて、改訂主旨へのご理解が得られ、これからは「現定款・モデル定款・新定款」(案)を対照させた条文の中で、一文字づつの検討が行われていきます。ですから、委員会としてはこれからがいよいよ本番といったところです。会員諸氏のご協力を切にお願いいたします。

(定款改訂委員会委員長・森谷延周)

●国際委員会

●委員会報告

新しい組織が生まれ、新参理事として国際委員会を担当し、まもなく一年を迎えようとしています。

J I D' 30事業も終り一息できると考えていましたが、その余裕もなく I F I 国際会議' 95日本誘致立候補が理事会で決定され、大事業が国際委員会に降りかかって来ました。

I F I や海外からの文書、それらの対応に次々と追われ、立候補地名古屋市との交渉、立候補正式表明日本誘致のためのプレゼンテーション作成、そして、I F I 会長を始め、海外からのお客様への対応などなど、委員会メンバーだけでなく、正副理事長、理事、元理事、関東事業支部、中部支部の多くの方々のご協力をいただきながら進めています。

これらの他、J I D' 30事業多忙のため積み残されていた、I F I 出版物「Please be Seated」への寄稿、「IFI Hand Book」への原稿というやっかいな業務もありました。前者は〆切も迫っておりましたので長岡理事

長、泉副理事長がご担当下さり、10月に I F I 本部へ送られました。後者は事務局中心に宮城委員担当で3月提出に向い進められています。

I F I 国際会議' 95日本誘致のためのプレゼンテーションは、過去の会議出席者のご意見も参考にしながら進められ、全会員に向けスライド公募・アンケートを平行して行っています。1月現在プレゼコンセプトも固まり、見積合せ3社、スライド公募〆切1/30を待って、制作をプロに依頼する運びとなりました。

非常に厳しい予算の下で、6月のシカゴ大会での発表まで委員会の業務はまだまだ続くことでしょう。

誘致成功を祈りながら、よりよいプレゼンテーションとなるよう努力したいと思います。

慣れない英文と打合いながら、忙しい90年度があっという間に終わろうとしています。

国際委員会委員

清水忠男、須長壮太郎、宮城由紀子、宮代紀子、
李泰久 下島資子(関東)、大橋義博(中部)
夏原晃子(関西)、鐘ヶ江茂則(九州)

(国際委員会委員長・山本棟子)

● I F I ニュースレターNo. 4 より抜粋記事紹介

●マーストリヒトでの委員会報告

I F I 討論会は、参加国の人々と会えるよい機会なので、討論会の2日前に、委員はマーストリヒトに集まりました。主な議題は、シカゴ大会と本会議の準備について費やされました。この大会は、期待できる、意義のあるイベントとして確実に形づくりが出来上がって来ています。

リチャード・リニントンは先の10月、マーチャンダイズマートの招待でシカゴへ短期間滞在し、例年のデザイン賞受賞式に参加、現在の議会に携わっているメンバーと話して来ました。

ダイレクトリー・スクールⅡには、準備の最終段階にあり、1991年始めにはメンバーに報告できることでしょう。

ハンドブックとレキシントンに関しては、(全国11参加提出済み、14未提出)シカゴ大会の時に出版することになります。“Please be seated”も20以上の協力を得られ、6月までには出版となります。委員会はメンバーを増やすべく時間をかけて考えていますが、東ヨーロッ

パのインテリアデザイナーの協会も誕生し、何人かは、既に I F I に連絡をくれました。

1991年の本会議とシカゴ大会前の最後のミーティングは1991年3月1日～3日、アムステルダムで行われます。

●「I F I 世界大会－1991年シカゴ」について

現在、シカゴとアムステルダム間で、1991年の大会の事を詰めるべくファックスが飛び交っています。1991年始めにそれぞれのメンバー協会などには大会案内書と登録手続き書が届くことになっています。

会議の主題は

“2000年の都市：モダン都市デザインの実験生活”です。

会議はアメリカン ソサエティ オヴ インテリアデザイナー（A S I D）、インスティテュー オヴ ビジネス デザイナー（I B D）、マーチャンダイズマートの主催で行われます。

I F I 本会議は、大会に先立って行われま。6月9日（日）10日（月）の午後から大会が開催され、まず、フランク・ロイドについてのレクチャーに引き続き、フランク・ロイド・ライト家とスタジオの見学があります。10日（火）、シカゴ市から、市長であり、また設計、経済開発コミッショナーであるリチャード・デイリーを紹介します。この日には、I F I 賞受賞式も行われます。

1世紀を越すシカゴの古いイタリア住宅街のフルハウス邸見学後、I F I 大会のスローガンである“世界総合依存、新しい世界のマーケットに挑戦”の合いことばと共にNEOCON23と本大会が合体します。

夜には、“オデッセイ号”のヨットで参加者をミシガン湖クルーズにご案内。

水曜日、木曜日、金曜日、NEOCONセッションがあり、I F I 参加者は歓迎いたします。またI F I 参加者のみの特別セッションもあります。

I F I 大会の参加者はめったに見られないインテリアの紹介や、特別名パーティなど。また、建設的な船で行くシカゴ河の船旅なども含まれています。

旅行や登録の情報に関しては、アメリカンエクスプレス、トラベルサービスが大会の公式な旅行会社となります。世界中 120カ所のオフィスでシカゴ行きのチケットを特別料金でご用意いたします。

シカゴのビスマルクホテルは、ダウンタウンにあり、便がよく、マーチャント マートや、主な見所から徒歩

で行けるなど、I F I 大会のホテルとして選ばれました。特別料金を設けています。

●名古屋にデザイン・センターを

I c o g r a d a、I C S I D、I F I、この三つのそれぞれの会長は1990年10月中旬に開催された“デザイン・セミナー”にそれぞれの協会の代表者として名古屋市に招待された。

我々全員、H. ランガー、A. ヌーメスニーミー、そして私自身、この企画が良い先導であったと思います。そしてまた沢山の人が我々に注目してくれた事を非常に嬉しく思います。唯一残念だったのは、イタリアのS. カラトロニ氏によるレクチャーしか聞く時間がなかったことです。

栄久庵憲司氏と我々三人とで行った“世界的な時代21世紀におけるデザインの役割”についてのパネル・ディスカッションを開いた日の午前中以外の期間は報道関係者にインタビューされておりました。

恐らく、我々が招待された一番大きな理由は、名古屋市の西尾武喜市長の下で国際的なデザイン・センター設立を望んでいるからでしょう。必ず成功すると私は思います。

我々が滞在した期間の日程はぎっしりと詰まっていたので残念ながら、飛行場とホテルと市議会館しか見る事ができませんでした。

しかし、多くの興味深い、親切なデザインのあらゆる方面の関係者に会うことができ又彼等から日本について色々教えて頂きました。またいつか、彼等に再会し、名古屋をふくむ日本全国を回ってみたいと思っております。

最終日に、名古屋のインテリア・デザイナー数人、そしてわざわざ東京から私に会う為にみえたJ I Dの理事長岡貞夫氏と共に会議を開きました。素晴らしい夕食もさることながら、楽しい一日を過ごしました。次の日に私は帰国したのですが、日本を発つ最後の瞬間まで最高の歓待、親切をして頂き、どう御礼を申し上げて良いか分かりません。

I F I 会長 ハンネ フィヨルト

（文責 本部事務局）

●広報委員会

J I D の事業記録等整備へのご協力お願い

J I D も創立以来30余年の歴史があります。その間、各種の有益な事業、記念すべき行事など数多く、中にはぜひとも記録を整備保存したいものが含まれています。

広報委員会ではかねてより会員各位にご協力をお願いして来ました。前号で『調査表』を同封させていただきましたところ、早速、ご返事がありました。御礼申し上げます。今回は本部事務局に保管されている記録・資料等のリスト（別掲）の一部をお知らせいたします。

そこで、別掲リストに含まれない記録・資料等がお手元にある向きは、ぜひ本部事務局または支部事務局まで、その項目名等をお知らせ下さい。尚、本件についてご不明の点は本部・支部事務局または末尾の広報委員にご相談下さい。

- 本部事務局・関東支部事務局（FAX 03-5704-3423）
- 中部 " （FAX 052-321-6448・TEL 052-321-6446）
- 関西 " （FAX 06-262-5665・TEL 06-262-5664）
- 九州 " （FAX 0973-24-7221・TEL 0973-23-2213）

●各支部広報委員

福田友美（関東）、式田 完（関西）

尾崎博志（中部）、菊竹清輝（九州）

（広報委員会委員長 山品 元）

◎本部事務局 保管の記録・資料リスト（主なもの）

事業年	(本)支部	件名	数量	備考
1958 (昭和33年) } 1990	本部	日本室内設計家協会 創立より現在までの 総会資料	10冊	設立時、関西・九州・中部発足、 社団法人認可等
同上	"	理事会議事録	2冊	2冊法人設立以前より現在まで
同上	"	会員番号簿	1冊	正会員番号001
"	"	会員名簿	各1冊	初版より現在まで
"	"	J I Dニュース 合本保存版	5冊	同上
1977 }	"	機関誌 保存版	各2~3部	「INTERIOR Design」
1968 } 1984	"	年鑑 「日本のインテリアデザイン」	各2冊	「インテリアの時代へ」「光とのか わり」「くらしの創造」
1988 } 1989	"	創立10周年記念事業 記録集 } 創立36周年記念事業記 念録集	各1式	作品展、シンポジウム、展覧会、 研究会、講演会等
1979 } 1990	"	インテリアマップ	各5冊	
1969 } 1990	"	協会賞関係	各1式	第1~10回

●組織委員会

●委員会報告

組織委員会の平成2年度事業基本方針、なぜ「会員拡充への企画と推進」なのか

1) 第22回通常総会の事業報告に

「平成元年度は創立30周年記念事業（以下J I D30事業と略称）を軸に通常事業を平行実施した。J I D30事業は展示事業を中心に内外に対する交流事業・教育事業に多数会員の積極的な参加が得られ、協会事業の拡充と今後の発展の基礎固めを行なうことが出来た。

しかしながら財政上、支出が収入を上回る結果となった」

2) J I D30事業委員長から出た報告によると、最終的に支出が12,157,028円上回っている。

収入予算49,710,000円に組み入れていた一般会計から支出予定の10,000,000円、準備金3,000,000円の繰り入れなしで、しかも4,113,962円増であったが、一方支出は予算よりはるかにオーバー、16,270,990円増となり最終的に12,157,280円の赤字に終わった。使い過ぎたわけです。

3) 又平成元年度収支決算報告によると収入55,740,000円の73%を占める会員収入予算額40,920,000円、決算31,513,300円。9,406,700円の減収になっています。前述J I D30事業への支出10,000,000円の財源をその大半新入会員の会費収入増を見込んだために、繰り入れも出来なくなった。

4) いずれにしても約10,000,000円の返済について、収入73%を占める会費収入増を計って㊤年会費の増額（財務委員会）㊤新入会員拡充（組織委員会）の2側面から実行することにして、平成2年度は収支予算にJ I D30引当繰入金とて赤字1/2、5,000,000円計上している。

5) 組織委員会では財源確保のため正会員80名・賛助会員21校社の拡充を年度目標とし、4事業支部で過去10年間の会員増加率から割り出した拡充分担数を、先の8/28総務・財務・組織合同委員会でご了承いただき、各支部組織委員長の責任で拡充を進めていただいている。平成2年度末3/31迄あと2ヶ月、中間報告の右記リストを御覧下さい。

6) 新入会員拡充状況

㊤89年度第6回～90年度第6回理事会迄の合計

	正会員	賛助会員
増加数	93	38
退会	-12	-3
差引計	81	35
年度目標	80	21
達成±数	+1	+14
達成率	101%	166%

㊤90年度第1回～第6回理事会迄の合計

	正会員	賛助会員
増加数	70	21
退会	-11	-1
差引計	59	20
年度目標	80	21
達成±数	-21	-1
達成率	73%	95%

7) 新入会員拡充状況 4 事業支部別内訳

㊤89年度第6回～90年度第6回理事会迄の合計

	関東		中部		関西		九州	
	正	賛	正	賛	正	賛	正	賛
増加数	64	27	6	1	9	9	14	0
退会	-8	-3	-1	0	-2	0	-1	0
差引計	56	24	5	1	7	9	13	0
年度目標	57	18	7	0	14	3	2	0
達成±数	-1	+6	-2	+1	-7	+6	+11	0
達成率	98%	133%	71%		50%	300%	650%	

㊤90年度第1回～第6回理事会迄の合計

	関東		中部		関西		九州	
	正	賛	正	賛	正	賛	正	賛
増加数	47	12	2	1	7	7	14	0
退会	-8	-1	-1	0	-1	0	-1	0
差引計	39	11	1	1	6	7	13	0
年度目標	57	18	7	0	14	3	2	0
達成±数	-18	-7	-6	+1	-8	+4	+11	0
達成率	68%	61%	14%		42%	233%	650%	

＊90年度拡充目標は89年度末の第6回理事会で確定した新入会者数を含めた各10年間の増加率で算出したものです。従って90年度の増加数は ㊦の数値で拡充結果を確認したいと思いますがいかがでしょうか。

各事業支部のご意見をお伺いいたします。

(組織委員会委員長 富田卓司)

●報酬基準委員会

アンケート回収実態集計

報酬基準委員会は昨年末J I D会員で、コーディネーターの資格者66名を対象とし業務の実態の調査をしました。

回答数は37名、現在集計中で1月22日ホテルニューオータニゴールドデンスパで開く予定の第3回の委員会では、集計結果をもとに今後の方針を審議します。

アンケートの内容は職業上の立場、報酬の実態、I C業務の比重、業務の対象、報酬算出方法、報酬額などです。

いずれ集計を発表しますので未解答の方の分も加えたいと思いますので早めに御提出下さい。

(報酬基準委員会委員長 中村圭介)

事業支部の動き

●関東事業支部

— '91新春交礼会開かれる —

平成三年の新春交礼会が、1月25日(金)六本木の国際文化会館にて、開催されました。午後6時からの開場でしたが、5時頃からお見えになる人が数多く、6時からの入場が遅く感じられる程でした。今年は新会員の方が、はっきりわかるように、リボン別けをしました。来賓の方・官公庁及関連団体・新入賛助会員、そして新正会員の方それぞれ異った色の章を胸に配して入場され、6時30分より、交流委員会野原建広副委員長の司会でスタートしました。中川帛子関東事業支部支部長による開会の辞に始まり、長岡貞夫J I D理事長の新年のご挨拶、生活環境の質的向上へのニーズ・インテリアデザインに関する関心の高まり、さらには、インテリアデザインの

オピニオン・リーダーとしての役割、その他国際的な視野に立ってのお言葉、そして当面最も重要な、財政基盤の確立、健全化の為の会費の見直し等のお話がありました。続いて、ご来賓の、通省産業省貿易局検査デザイン行政室、朝倉悟氏の、高齢化社会に於けるインテリアの関わり、そして(財)日本産業デザイン振興会理事長、村野啓一郎氏、つづいて、(社)商業施設技術団体連合会会長、村上末吉氏による、お言葉の後、名誉会員の加集喜雄氏の乾杯により、新春の宴が、始まりました。今年は、ヤマハの立体音楽による、バックミュージックを企画・音と音楽の組み合わせは、一部の人が、めずらしい音楽のしくみを、ヤマハの専門家に説明を受けていました。

又、南京玉すだれ保存会の仙助流、南京玉すだれを、西川惣十氏によって、演ぜられ、より、はなやかな雰囲気、かもしだされました。そのあと野村禮七郎事務局長による、新理事の紹介、浅野盛治交流会委員長による、新入会員の紹介が行われました。今年紹介されました新入会員は、28名・新入賛助会員10社・フレッシュな会員の、これからのご活躍を期待しましょう。新会員歓迎の、くす玉割りのあと、山本棟子国際委員会委員長によるP・R、終りに、交流委員が壇上に、紹介され、川上信二本部交流委員会委員長の閉会の辞となり、手じめによって、午後9時立体音楽さくらの流れる中、退場となり散会致しました。

今年は湾岸戦争が、ぼつ発し、ソ連のリトアニア問題等国際情勢が最悪のスタートとなりましたが、会員皆様の年始の初顔会わせに、今までにない、総出席者178名というご参加を頂きました。ご助力頂きました会員皆様に心より感謝申し上げます。今回ご出席できなかった会員の皆様には、次回の、交流会催事にぜひご参加頂けます様、お願い申し上げます。

(関東交流委員会 栗原満直)

—新春交礼会に出席して—

新春交礼会に、新入会員として、初めて参加致しましたが、熱気の中に和やかさが溢れ楽しいひと時でした。いつも会っている顔、久しぶりにお会いする顔、そしてお名前は、良く存じ上げているが初めてお会いするお顔と、バラエティーに富んでいて、一気に日頃の御無沙汰を、解消したような気が致します。お集まりの皆様の、層の厚さに、インテリアデザイナー界を、リードし発展させ、育てて行くパワーと意気込みを感じました。

21世紀へ向い、また'95年 I F I 国際会議日本開催立候補と、会も増々地球規模で動いて行く中であって、大きな環の中に私も加わりました事をひとつのバネとして、自分自身を見つめ直し、大きく伸びて行きたいと思っています。

(関東事業支部 荒武 初)



J I D 平成 2 ～ 3 年度役員の紹介



新正会員の紹介



新賛助会員の紹介

シカゴ国際会議ツアー予告

「J I D NEWS」前号でお知らせした通り、来る 6 月 9 日より 14 日迄開かれるシカゴ国際会議の前後 10 日のツアーを企画しています。'95 I F I 国際会議日本誘致を皆さんの熱意で実現させましょう。ふるってご参加下さい。

(関東事業支部)

●中部事業支部だより

ー中部事業支部だよりー

事業委員長 関 里繪子

新組織が誕生して、中部事業支部の会員一同は意を新たに頑張っております。先ず、国際デザイン博一周年記念イベント「国際デザインプラザ・名古屋'90」の企画が突如 7 月 10 日に中部デザイン団体協議会 (C C D O) で受託されて以来、10 月 12 日開催までの 3 ヶ月間は、そのスピード運営への参加を余儀なくさせられ、猛烈に忙しい日々を過ごしました。昨年の国際デザイン会議の体験にもの云わせて正味 2 ヶ月間でまとめ上げたこのイベントの成果は反省点はあっても先ずは上出来であったと云わざるを得ません。その多彩な内容は下記の通りですが、連催された「国際パブリックデザインフェア NAGOYA'90」の催しと併わせて、中部のにぎわいを御想像下さい。次に、昨年以來懸案の「イタリア・デザイン研修」は現在実施に向けて企画進行中であることをお知らせしておきます。内容的には、来年度より新企画で始まるミラノ家具展 (4/12～4/17) の見学はもとより、特長的なことは、現地有名デザイナーのスタジオ見学、工場見学、デザイナー交流会などの試みを加え、デザイナー協会に房わしい実益あるものにしたいと考えています。帰路にはフランスの新都市開発の視察なども加え、楽しく有意義なものに思っているのですが、限定された期間内にうまくまとまれば、改めて皆様方の御参加を募ることになると存じます。事業委員会では現在、現地の情報に明るい方、コンタクトの便のある方などの積極的な御協力を得たく、御連絡をお待ちしています。

最新の情報は勿論、I F I 世界デザイン会議の名古屋市招聘の話題ですが、この件は 10 月中旬突然明らかにされて、当地の私達は大変に驚きました。それ故、様々な意見もありますが、もし来年 6 月決定をみれば、J I D 最大の事業として全力をあげて ICSID に負けぬ成功を納める覚悟でやらねばと話し合っております。開催招聘が可能になる予定の 1995 年までには、年令の経過や会員の移動など状況変化はまぬがれません。今後は特にしっかりとしたコンセプトのもとに、会員相互のコミュニケーションを深め、確かなヴィジョン作りをして行く必要があります。ICSID 名古屋、国際デザインプラザ・名古屋'90 の二つの活動体験を通し私達は、大勢の協力で成すイベントの素晴らしさを知りましたが同時にコミュニ

ケーションの密度が全て成功の鍵となることも会得しました。その意味でも待望のミラノ研修旅行は有意義なものとして成功させなければと考えます。是非、沢山の御参加を期待しています。

自らを「デザイン都市・名古屋」と称する名古屋市を中心に持つ中部事業支部会員のエネルギーの負担は時には大ではありますが、J I D 会員の大切なコミュニケーションの糧となり、そこに充実した明日があると考えれば、労を惜しむことは許されません。どうか皆様方の温かい御協力を一同心からお願い申し上げます。

ー「国際デザインプラザ・名古屋'90」概要ー

◇デザインセミナー 1990年10月12～13日名古屋国際会議場

『21世紀デザイン新時代の創造をめざして』

ーデザイン都市・名古屋からの発信ー

●基調講演

「21世紀をリードするデザインの新潮流」

講師：セルジオ・カラトローニ（伊）

●クロストーク（Ⅰ）

「デザイン新時代とウーマンズパワー」

渡辺妃佐子、斉藤裕美、妹島和世、島村美由紀

●クロストーク（Ⅱ）

「国際化するデザインビジネス最前線」

ステファン・バローローソン、フリードリッヒ・フレンクラー、五十嵐威暢、沖健次 池亀拓夫

●座談会

「地球時代・21世紀におけるデザインの役割」

アンティ・ヌルメスニエミ（ICSID 会長）

ヘルムート・ランガー（ICOGRADA会長）

ハンネ・フィヨルト（IFI 会長）

栄久庵憲司（ICSID名誉顧問）コーディネーター

◇市民フォーラム 10月13日（土）

◇トーク&ミュージック 10月13日（土）

◇イメージ&オブジェクト日本展 10月12日（金）～14日（日）（ロイヤル・カレッジ・オブ・アートのディグリー・ショウ作品展）

◇中部のデザイン展 10月12日（金）～14日（日）

◇デザインキャンパス 10月12日（金）～14日（日）

◇デザイン・ビジット 10月14日（日）

『国際パブリックデザインフェアNAGOYA '90』

1990年11月7日（水）～11日（日）名古屋・吹上ホール

●国際パブリックデザイン 展・国際パブリックコンペティション

ーJ I D中部新年会開かれるー

1. 日時：平成3年1月26日（土）17：30～20：30

2. 場所：名古屋市内「有明」於

中部事業支部は、会員、賛助会員、新会員を含めて、新年会を開催した。栃谷支部長の新年のあいさつにひきつづき、宇賀理事より I F I 総会誘致についての報告ー先日1月25日に開催された、中部デザイン団体協議会主催「デザイン施策意見交換会」に出席、I F I 総会名古屋誘致について、各団体に働きかけ、誘致が成功するために、ご理解と協力を要望した。報告にひきつづきを賛助会員長谷虎紡績(株) 梶田隆男氏より、力強いご協力のことが有り新会員、澤田、小宮、池田、南川各氏からも、J I D に対する期待感は大きく、建設的な意見を聞くことが出来た。又食事をしながら、各自の近況等、なごやかな会話で楽しい時を過ごした。最後に副支部長安藤氏の一本締で、会を終了。

各委員長報告 （今後の活動予定）

◇総務・（小柳委員長）会費値上の件（未定）。会員、及び賛助会員増員要望。会の魅力づくりが必要。

◇教育・研究（熊谷委員長）各自の日常性の中に於て追求しているテーマを集め、委員会で検討し研究テーマを設定、研究して行きたい。その中で、イベント等も計画する。

◇事業・（関委員長）デザイン研修ツアー「ミラノ見本市と仏リヨン都市開発視察」日時決定
4月12日～4月21日（10日間）デザイン研修ツアーの件、最終案決定後発表
詳細は別紙ご案内参照

◇広報・出版（尾崎委員長）会員相互の理解と親睦をより深めるために、中部会員情報を、2ヶ月に1回作成予定、ご協力下さい。

〔新年会出席者〕 安藤清、池田高明、宇賀敏夫、熊谷正信、小柳朝一、関里繪子、栃谷賢一、木辺智子 広瀬 一、本多正之、尾崎博志、賛助会員 梶田隆男 新会員 小宮三辰、池田慎司、澤田晴委智郎、南川芳広、追記 他の会議、仕事上等で、出席が少なかったのが残念で、会員としてもっと義務感を持つべきではないでしょうか。

（広報委員会委員長 尾崎博志）

●関西事業支部

－大阪デザイン活動国際化促進協議会－

昨春発足した〈大阪デザイン活動国際化促進協議会〉の幹事会が12月14日開催され、協会からは幹事の浅田支部長が出席した。席上平成3年度の事業計画の検討、昨秋派遣したシンガポール・ミッションの報告がなされたが、本年も引き続き東南アジアとのデザイン交流を深めるためのミッション派遣を検討することとなった。また機関誌〈DO(DSIGN OSAKA)〉の第1号が12月に発刊され、在阪デザイナー及び団体の活動状況が紹介されている。シンガポール・ミッションの報告では〈第2回国際デザインフォーラム・シンガポール〉参加の報告がスライドを混じえて行なわれたが、この報告の部分は幹事以外の構成各団体の会員も参加、当協会からは川崎理事他数名が出席した。

－関西事業支部運営委員会－

新年を迎えて、1月8日大阪デザインセンター会議室にて支部運営委員会を開催した。

今回は、新春の事でもあり、通常構成メンバーの各委員会委員長のみでなく、各委員会委員も参加、栢原理事からの理事会報告に続き、平成3年度予算案、名簿掲載広告募集他支部活動全般についての討議を行った。

－USD-O創立10周年新春懇親会－

在阪14デザイン団体で構成する〈大阪デザイン団体連合（略称USD-O）〉の創立10周年を祝う新春懇親会が、1月11日大阪心斎橋のオ・セイリュウで開催された。この新春懇親会は毎年恒例のものであるが、今年は創立10周年ということで特に趣向も凝らし、約250名のデザイン関係者が参集した。アトラクションの本場ブラジルのサンバショーなどが更に会を盛り上げ、大盛況で幕を閉じた。本会からは、樋口名誉理事、栢原理事、浅田支部長他多数が参加した。

関西事業支部 広報委員会

●九州事業支部

平成2年度はJID30周年記念事業の経験を生かした支部活動を進めてきた。特に今年度は10名の新会員を迎えワイドでパワフルな支部となってきたこと、まず例会を中心に定期的におこない会員間の交流と信頼、

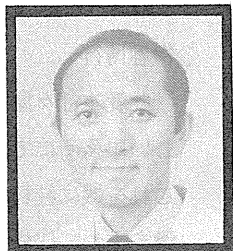
情報の交換と認識を深める。地域の文化、産業への高揚へと少しでも寄与出来るデザイナー集団として事業を進めていきたい。九州支部では隔年、会員の作品発表会を行ってきた。平成2年度はその年ではないのでまず支部会員の交流を大切にもっと知り合うことから始めようそこから生まれる新たな進展があるからです。事業とは云えませんが大切なことだと思っています。九州支部には会員マップがあります。各々の地域にどのような産業があるのか、から始まって、地域産業とのコミュニケーションを始めていこうということになり会員の意見をまとめた事業の1項としました。

九州支部事業

1. 例会の定期的運営（原則として月に1回）
2. 地域産業とのコミュニケーション
 - ①大川家具工業会との意見交換会 ②各地域産業の代表との意見交換会 ③地域文化事業への参加
1. 例会の中で支部会員の近況報告という項があります。例会ごとに2名か3名発表してもらうものです、会員相互の理解と情報に大きな役割を果たしています。ある人は生立ちから人生感まで、またデザインワークとテクニック、海外事情、イベントの開催、パフォーマンスと非常に多彩で楽しいものです。
2. 地域とのコミュニケーションについてはまず産業側が組合とか協会とか団体を対象としているためまず相手側についての知識が必要です。その上でJIDとしての対応の方法を見い出して相方に実のある形にしたいと思っているため時間がかかっている。始めは大川家具工業会を対象に進めてきたが、地域の産業としてとらえた場合この地域には伝統産業に近い地場産業が多くあります。建具、イ草、かわら、その他とインテリアに関するものがあり、この分野の活性化のため大川インテリア産業振興センターが設けられているためコミュニケーションの対象を変更してきました。最初は産地をグローバルにとらえて検討をしていこうと云うことになりました。事務局長とスケジュールの検討をした結果3年度6月上旬になりそうです。来期に持越すことになりましたが大事に進めていきたと思っています。

（九州事業支部 鐘ヶ江茂則）

浅利弘三君に捧ぐ



吾等が友は去った
 時と光は吾等が空間を美しく見せてくれた
 しかしデザインはそれを吾等が心のなかにも
 生きとし生ける生活空間にも形として残した
 それは浅利弘三の生命であり業であった
 人々の五感のなかにデザインを探り
 人々の幸せのなかに技術を探り
 人々の働く中に提案した
 時が去り 浅利弘三君は逝った
 吾等友々は 祈らずにはいられない
 遠き国に在る吾等が友
 浅利弘三君 どうか安らかであれ

平成2年11月19日 会友浅利弘三君は帰らぬ人となった。
 会員番号1番である。その番号の通り会が創立されたときから人である。そして、この道、40年の素晴らしい人生を歩いてきた。日本の曲木技術を代表する秋田県湯沢にある秋田木工で曲木を中心とする開発を手掛け ある時は工場のなかで、ある時は建築の現場で、そして、デザイナーとして後輩の教育と、社会へのデザインキャンペーン等々、その働きは枚挙に遑がなかった。そして病と闘った。手術と入院を繰り返しながら、それでもクリエーターであった、最後までその道を歩きながら考えていたと思う。

何を書いても過去形の文字になるのは真に寂しいものであり文学表現の難しさを痛む 享年58才の一生であった

合掌

西沢圭三記（関東、正会員）

倉俣史朗氏（協会賞受賞者）逝く

1985年協会賞を受賞された倉俣史朗氏が2月1日急逝されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

（本部事務局）

関連団体の動き

●(社)国際家具産業振興会

事務所移転（平成2年12月22日）

新住所 〒162 東京都新宿区神楽坂2-16-1

軽子坂田中ビル3F

電話 03-5261-9401 FAX 03-5261-9404

●(社)日本ジュウリーデザイン協会

事務局長交替

白井前事務局長の後任として新事務局長に川本洋子氏が昨年12月の理事会で選任されました。

会員の消息

◇小此木秋彦

あけましておめでとうございます。本年より(有)ホットスタッフを設立し、スタートしました。
 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（関東準会員）

◇桂田温

新春お目出とうございます。

会員諸氏の御健勝とご発展を祈り上げます。小生7回目のひつじ年を迎えました。元気で居ります。

（名誉会員）

◇川崎浩

即ち酒を止めて四年になりましたが元気がよくあります。
 徒知止不樂 未信止利己
 日欲止之 當衛止不理
 平生不止酒 止酒情無喜
 暮止不安寝 晨止不能起

（関西、理事）

◇木辺智子

昨年11月2日に3,480gの元気な男の赤ちゃんを出産しました。父親よりもハンサムで母親よりも元気な赤ちゃんです。子供を持つということはなんと忙しいことでしょう。毎日てんやわんやで、しばらくは子育てにはげみます。

(中部準会員)

◇木村戦太郎

皆様あけましておめでとうございます。

1990年はまさに、パラダイムシフトの年でしたが今年はどうなるのでしょうか。ともかく前進しながら考えましょう。

(関東)

◇嶋佐知子

去年は例年通り8月一杯の休みを利用して、北欧4ヵ国の研修ツアーを半月致しました。

主として、高齢者対策を見てまわり、溜息が出るばかり。それを支えているものは高額な税金ばかりでなく、優しさと思いやりの暖かい心です。デザインの世界でも同じと思いました。今年も、公団の提案型住宅をはじめとして真剣に、そして楽しみながら仕事をしていきますので、よろしくお願い申し上げます。

1991年元旦 (関東)

◇高橋紘生

本年もよろしくお願いします。

新年早々、超多忙で交礼会欠席します。寺原氏の椅子がドイツ美術館に収蔵されることになりました。ニュースではありませんか!!

(関東)

◇榎谷博行

此度本社々屋を下記住所に移転し、1月5日より新しい事務所にて業務を始めました。

これを機に社員一同決意を新たにして、より一層の研鑽を重ねて皆様方にニーズに満足して頂ける様励む所在であります。

今後ともご指導ご鞭達を賜りますようお願い申し上げます。

平成3年1月

新住所 〒630 奈良市西ノ京町 101番地の1

電話 0742-34-1461 FAX 0742-34-2112

株式会社 榎谷設計 会長 榎谷博行

(関西)

◇松島由美子

MERRY CHRISTMAS AND A HAPPY NEW YEAR !!

1990年もあとうずか、なんて一年の過ぎるのは早いかなと思います。来年4月には、イタリア家具・テキスタイルをあつかうSHOP(1階)、OFFICE(2階)、私の部屋(3階)が世田谷区下馬にできます。SHOW ROOM(大変小さいですが)ぜひ遊びにいらして下さい。

1990年12月 (関東準会員)

◇松村勝男

元旦になったとたん、フシギなことに具合悪くなり、国立大蔵病院に入院手術ということになりました。1月半はかかるとのこと。

(関東)

富 国 (株)

東京都中央区日本橋小伝馬町12-9 滋賀ビル 〒103
(03)3662-1901 下村 忠(企画開発部長)

藤 産 業 (株)

東京都港区西新橋1-5-14 信栄堂ビル7F 〒105
(03)3508-1846 高橋哲也(デザイン課課長)

富 士 フ ァ ニ チ ア (株)

徳島県板野郡松茂町満穂字満穂開拓151 〒771-02
(0886)99-2211 岡 克彦(取締役総務部長)

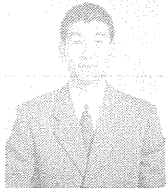
(株) フ ジ エ テ キ ス タ イ ル

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-7-12 〒151
(03)3478-6281 桜井照也(商品開発部)

新入会員の紹介

●新入会員

(正 会 員)

会員名及び番号		住 所 及 電 話
しの ぎき しゅう いち 篠 崎 秀 一 (会員番号 8 9 5) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	Shi's Planning (シーズプランニング) 東京都江戸川区中葛西 7-28-4-202 〒134 TEL・FAX 03-3869-9726 東京都江戸川区中葛西 7-28-4-202 式 田 完 ・ 日 方 和 城
ち ば ゆたか 千 葉 豊 (会員番号 8 9 6) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)ヒューマン・デザイン 名古屋市中区錦 1-7-13 名古屋錦ビル五F 〒460 TEL 052-203-8866 FAX 052-231-3284 岐阜県大垣市島里 2-8-2 〒503 TEL 0584-89-2814 早 川 昌 直 ・ 中 島 健 視
すず き しげ のぶ 鈴 木 滋 伸 (会員番号 8 9 7) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	一級建築士事務所 鈴木滋伸建築事務所 千葉県船橋市八木が谷 1-21-15 〒274 TEL・FAX 0474-47-1395 千葉県船橋市八木が谷 1-21-15 〒274 TEL・FAX 0474-47-1395 中 村 圭 介 ・ 野 原 建 広
とり ば よし たか 鳥 場 淑 高 (会員番号 8 9 8) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	(株)テキスタイル 飯田 東京都渋谷区元代々木 1-1 〒151 TEL 03-3465-5001 FAX 03-3465-5055 東京都大田区東矢口 1-11-10 〒146 TEL 03-3730-6333 長 岡 貞 夫 ・ 森 谷 延 周
つる その まさ はる 鶴 蘭 雅 張 (会員番号 8 9 9) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	ジャパン インテリア(株) 鹿児島市字宿 3-29-5 〒890 TEL 0922-58-7995 FAX 0992-58-7851 鹿児島市新栄町 27-20 〒890 TEL 0992-50-5385 中 川 千 年 ・ 伊 藤 邦 隆

(正 会 員)

会員名及番号		住 所 及 電 話
は じ よし あき 土 師 義 昭 (会員番号900) 	<勤務先・事務所> <自 宅> <推 薦 者>	スペース・アズ 大阪市天王寺区小橋町12-2 ホワイトレジデンス512 〒543 TEL 06-765-0466 FAX 06-765-0477 奈良県奈良市三碓1-9-5 〒631 TEL 0742-47-2309 川 崎 浩 ・ 山 崎 晶

(賛助会員)

会 員 名		住 所 ・ 電 話 及 び 担 当 者
株式会社上田製作所 アートフォルム 事業部	住 所 担 当 者 紹 介 者	大阪府守口市大久保町3-34-11 〒570 TEL 06-902-3563 (内15) FAX 06-902-6680 専務取締役 上 田 員 正 (和正) 富 田 卓 司
学校法人 東北文化学園 東北工科情報 専 門 学 校	住 所 担 当 者 紹 介 者	仙台市青葉区荒巻字山屋敷35-3 〒981 TEL 022-233-7901 FAX 022-274-0444 校長 庄 田 新 一 伊 藤 功 啓 事 務 局 扱
マツモト工芸産業 株式会社	住 所 担 当 者 紹 介 者	大阪府堺市長曽根町407-4 〒591 TEL 0722-55-1500 FAX 0722-55-1994 代表取締役 松 本 豊 重 古 家 中 道 義 雄

会 員 の 異 動

(名誉・正会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
目 次 昭 雄 (関東 P144)	支 部 変 更 勤 務 先 自 宅	関西事業支部 東大阪短期大学 家政学科 教授 大阪府東大阪市西堤学園3-1 〒517 TEL 06-782-2884 京都市上京区河原町通今出川下る 梶井町447 プランタン8C 〒602 TEL 075-256-3837

(名誉・正会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
中 村 清 美 (関東 新入会員)	自 宅	東京都板橋区赤塚新町3-3-12 〒175 TEL 03-3939-6530
森 藤 幸 雄 (関東 P145)	事 務 所 ・ 自 宅 移 転	静岡県静岡市羽鳥1189-3 〒421-12 TEL 054-278-5045 FAX 054-278-5414
田 中 聰 行 (関東 P109)	事 務 所	東京都大田区田園調布本町17-7 〒145 TEL 03-3721-7073 FAX 03-3721-7265
梶 谷 博 行 (関西 P209)	本 社 事 務 所 移 転	奈良市西ノ京町101番地ノ1 〒630 TEL 0742-34-1461 (代) FAX 0742-34-2112
まなべ みどり (関東 P135)	事 務 所 移 転	東京都渋谷区恵比寿西2-8-6 ビッグツリービル7F 〒150 TEL 03-3464-7501 FAX 03-3464-7590
稲 田 慎 一 (関東 新入会員)	支 部 変 更 勤 務 先 事 務 所 自 宅	九州事業支部 (有)テン・デザイン 熊本市十禅寺町288-1 〒860 TEL 096-351-1010 熊本市十禅寺町430 十禅寺ハイツ305号 〒860 TEL 096-325-0375
溝 口 新 (九州 P239)	勤 務 先 住 所	福岡市城南区東油山4-20-1 〒814-01 TEL 092-862-6575
栗 本 邦 博 (九州 新入会員)	事 務 所 開 設	栗本デザインオフィス 大分市三川下3-6-33 〒870-01 TEL 0975-56-5020 FAX 0975-43-7166
小 林 清 泰 (関東 P162)	自 宅 住 所	東京都目黒区八雲5-8-15 〒152

(名誉・正会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
清 水 忠 男 (関東 P 9 6)	自 宅 移 転	東京都武蔵野市吉祥寺東町 3-28-3-B 〒180 (' 91年、2月中旬より)
石 井 静 香 (関東 P 5 2)	事 務 所 ・ 自 宅 郵 便 番 号	〒225
古 賀 文 三 (関東 P 8 7)	自 宅 住 宅	東京都青梅市河辺町 1-805-1 ライオンズマンション多摩川河辺205号 〒198
中 島 好 裕 (関東 P 1 1 5)	勤 務 先 部 署 名 勤 務 先 住 所	小田急百貨店建装部 東京都新宿区西新宿 7-3-4 仁杉ビル 〒160 TEL 03-5389-2901
工 藤 道 雄 (関東 P 1 6 1)	勤 務 先 自 宅	愛知 (株) 札幌営業所 札幌市中央区北 5 条東 3 丁目-14 浜中ビル 〒060 TEL 011-222-4531 FAX 011-221-3394 札幌市豊平区里塚 263 番 138 〒004 TEL 011-884-8712
今 井 壽 志 (関東 P 5 7)	自 宅 住 所	東京都目黒区東が丘 1-16-17 泰山館 106 号 〒152 TEL 03-3421-5190
剣 持 仁 (名誉 P 3 7)	自 宅 住 所	埼玉県北本市東間 5-90 サンマンション北本 2-308 〒364 TEL 0485-43-6078

(賛助会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
(株)リバコプラソニック (賛助 P 3 1 6)	担 当 者	(株)リバコトレーディング 代表取締役 井 上 英 之
ハンターダグラス ウィンドウファシオン(株) (賛助 新入会員)	本 社 移 転 担 当 者	大阪市北区西天満 2-4-4 堂島関電ビル 6 F 〒530 常務取締役 松 井 浩
高畑 発 條 工 業 (株) (賛助 P 2 9 9)	社 名 変 更	株式会社 高畑 (平成 3 年 2 月 1 日より)

(賛助会員)

会 員 名	異 動 事 項	新
フクビ化学工業(株) (賛助 新入会員)	担 当 者	理事 森 一 TEL 0776-38-8013 (直通)
(株) ハ シ ヤ (賛助 P307)	担 当 者	取締役本社企画本部長 山 口 清
ホウトク販売(株) (賛助 P310)	担 当 者	本店営業本部設計企画営業部 部長 大 島 一 彦 東京都文京区小石川3-1-3 伝通院ビル4F 〒112 TEL 03-5689-4311 FAX 03-5689-4310
サンプリデ(株) (賛助 P294)	事 務 所 移 転	東京都港区西新橋2-28-4 〒112 TEL 03-3434-0808 FAX 03-3434-3765
(株) サ ン ゲ ヅ 東 京 店 (賛助 P293)	仮 事 務 所	東京都品川区東品川3-21-10 ヤダビル7F
(株) コ ト ブ キ (賛助 P293)	事業部名称呼称変更	(株)コトブキ Seating 事業部開発課 (しーいび)

◎ 訂正とお詫び

JIDニュース'90-11・12月号に誤りがございました
こゝに謹んでお詫びと訂正をいたします。

P12・関西事業支部の項

並川拓史氏お名前・事務所名

〈個人〉 〈デザイン事務所〉

(正) 並川拓史、 並川拓史デザイン研究室

(誤) 並木拓史、 並木拓史デザイン研究室

款改訂」「IFI関係」「年度末決算準備」等重要事
項に追われる毎日です。

② 今年から「新春交礼会」は各事業支部主催となり各
地で華やかに催されました。関東では来賓も加え 200
人近い方が参集し会員相互の交流を深められました。

③ 「JID会員名簿」の広告掲載を賛助会員の皆様
にお願いし、多数のお申込みを頂き有難うございました。
広告原稿〆切等の関係で当初計画の3月末発行が少し
遅れそうです。ご了承下さい。

④ 平成2年度会員未納の方へ

過年度及び平成2年度会費未納の方協会の事業運営に
支障を来しています。会費は前納制となっていますの
で該当会員の方は大至急納入して下さい。

(本部事務局)

●事務局短信

① 平成3年の新春を迎え、昭和が遠くなった感がしま
す。早いもので本部事務所も恵比寿に移転して早1年
近くになり、窓外の景色も四季を映して今は梅が満開
です。事務局も「新名簿発行」「協会賞の〆切」「定

フ ラ ン ス ベ ッ ト (株)

東京都昭島市中神島1148 〒196
(0425)43-3111 福田耕生(研究部開発第二部長)

プ ラ ス (株)

東京都文京区音羽1-20-11 〒135
(03)3942-3291
川野史雄(オフィス環境事業本部オフィスデザインセンター部長)

(株) ホ ウ ト ク

愛知県小牧市 上末 東山3509-190 〒485
(0568)79-3281 (代)
山形修二 (取締役 開発担当部長)

ホ ウ ト ク 販 売 (株)

東京都文京区小石川3-1-3 伝通院ビル4F 〒112
(03)5689-4311
大島一彦(本店営業本部設計企画営業部部長)

細 田 木 材 工 業 (株)

東京都江東区新木場2-15-28 〒136
(03)3531-8701 内林正司(インテリア事業本部部長)

ボ デ ィ ソ ニ ッ ク (株)

東京都港区南青山1-1-1 〒107
(03)3475-1815
喜田圭一郎(システムインテグレート部部長)

(株) 松 坂 屋

上 野 店
東京都台東区上野3-29-5 〒110
(03)3832-1111 内線2250 秋谷秀雄(設計課長)

松 下 電 工 (株)

大阪府門真市大字門真1048 〒571
(06)908-1131 大堀治宣(デザイン部)

(株) マ ル ニ ファ ニ シ ン グ

千葉県松戸市小根本7-10 フコク生命ビル 〒271
(0473)62-0202 松田光仍(総括本部企画課係長)

三 國 商 工 (株)

東京都千代田区外神田1-11-5 〒101
(03)3253-3920 大石忠久(常務取締役第二事業部長)
皆川裕行(営業五部営業第五課)

1991/1・2

頒価 300円(送料共)

1991年2月1日発行

(社団法人日本インテリアデザイナー協会月報1991年通巻第164号)

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会事務局

印刷所・(社福)コロニー印刷

東京都渋谷区恵比寿南2-13-14 茶屋坂T&Kビル3F

☎03-5704-3421(代) F A X 03-5704-3423

振替・東京 8-76389